

4. 検 証

(1) 検証方法

- 二群法とS-P曲線で指導法の分析をする

(2) 検証計画

- 二つの学級を事前テストの結果から、F検定、t検定で等質であることを確認し、実験群と統制群に分ける。
 - 仮説にせまる指導法として、統制群はピーカーを使用してのグループ実験（従来の方法）を、実験群はフィルムケースを個人ごとに与えた個別実験（新たな方法）を取り入れた。
 - 事後テストの結果から、再度、F検定、t検定で指導法の効果の有無を検定し、さらに、S-P曲線をもとに指導法の分析を試みる。
- なお、検証の手順、仮説にせまる指導法を図に表すと次のようになる。

① 検証の手順

